

令和4年度年間指導・評価計画

教科	保健体育	学年	第1学年	担当	品川 紀子 舟山広介・阿部康史
----	------	----	------	----	--------------------

【教科の目標】

○体育分野

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- (2) 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、最善を尽くして運動をする態度を育てる。

○保健分野

個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学 習 活 動
1 学 期	4 ・ 5	○集団行動 ○体づくり運動 ○スポーツテスト	・ 自己の体に関心をもち、自己の体力や生活に応じた課題をもって体の調子を整えるなどの体ほぐし運動を行い、体力を高める。
	5 ・ 6	○陸上競技 （短距離走） ○器械運動 （マット運動）	・ クラウチングスタートのやり方や短距離走に合ったフォームを身に付ける。 ・ 自己の能力に適した技を選択し、個々の技ができるようにするとともに、それらを組み合わせ、技がなめらかに流れるように技能を高める。
	7 ・ 8 ・ 9	○水泳 ◆健康な生活と疾病の予防① ○球技（バレーボール）	・ 自己の能力に適した課題をもって、クロール、平泳ぎの練習を行い、正しいフォームを身に付ける。 ・ 健康の成り立ちや疾病も発生要因について学ぶ。 ・ 運動、食生活、休養や睡眠と健康との関係について学ぶ。 ・ 個人的技能を高めながら、ルールを理解してゲームを行うことができる。また、チームで話し合い、作戦を立てる。 ・ 球技大会に向け、クラスの和を大切に考える練習方法を考える。 ・ 知的機能や情意機能の発達について学ぶ。

2 学 期	10 ・ 11	○球技 (ソフトボール) ○ダンス	・ボールやバットに慣れ、ボールを打ち返したり、キャッチしたりできるようにする。 ・ソーラン節を通してダンスの楽しみを感じる。また、グループで、それぞれの感じ方や動きを率直に話し合う。簡単な作品にまとめ、発表し合い、仲間とともに踊る楽しさを味わう。
	12 ・ 1	○球技 (バドミントン) ◆心身の機能の発達と心の健康	・仲間と協力して練習を行い、用具の操作とシャトルを打つ動きを身につけ、ラリーを続けるゲームを楽しむことができる。 ・年齢に伴う身体機能の発達について学ぶ。 ・思春期の生殖機能の成熟を理解するとともに、こうした変化に対応するための適切な行動が必要となることを学ぶ。 ・知的機能や情意機能の発達について学ぶ。 ・思春期は自立のために必要な時期で、社会性は年齢を重ねながら様々な経験や人との関わりで、徐々に発達することを学ぶ。 ・思春期には、自己理解が深まり、自己形成がなされていくことを学ぶ。 ・欲求に適切に対応することによって心の安定が図れることを学ぶ。
	2 ・ 3	○球技 (バスケットボール)	・協力して練習やゲームを行い、ゲームを通して自分やチームの課題を明らかにする。 ・パス、シュート、ドリブル、ピボットなど基本的な技能を身に付け、その技能をゲームで発揮できるよう工夫する。 ・技能を活用してゲームを行い、個人的技能を高め、チームで作戦を立てながら協力してゲームをする。

【評価の方法】

評 価 の 対 象	主体的に学習に取り 組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
授業への意欲・学習態度・約束の遵守	○	○	
授業での観察	○	○	○
実技テスト			○
定期考査（期末考査）			○
学習カード	○	○	

【学習アドバイス】

○体育分野

- ・服装、時間、さまざまな約束事をしっかりと守り、安全に気をつけながら活動しましょう。
- ・基礎体力を向上させましょう（準備運動をしっかりと行うこと）。
- ・グループ学習を通して、互いに見合って指摘し合うことで、技能を向上させましょう。

○保健分野

- ・「こころ」と「からだ」の発達は互いに密接に関わりあっています。自分の「こころ」や「からだ」のことに敏感になり、安全で健康な生活を送るための様々な知識を学びましょう。

令和4年度年間指導・評価計画

教科	保健体育	学年	第2学年	担当	阿部 康史 外館 恵美 品川 紀子
----	------	----	------	----	----------------------

【教科の目標】

○体育分野

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- (2) 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、最善を尽くして運動をする態度を育てる。

○保健分野

個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学 習 活 動
1 学 期	4 ・ 5	○集団行動 ・ ○体づくり運動 ○スポーツテスト	・ 自己の体に関心をもち、自己の体力や生活に応じた課題を見つけ、体の調子を整えるための体ほぐし運動をしながら体力を高める。
	5 ・ 6	○陸上競技 (短距離走) (走り高跳び) ○器械運動 (マット運動・跳び箱運動)	・ 記録の向上を目指して、仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 ・ 自分の能力に応じた課題を見つけ、練習の方法を工夫して課題を解決し、個人的技能を高める。 ・ 自己の能力に適した技を選択し、個々の技ができるようにするとともに、それらを組み合わせ、技がよりよくできるように技能を高める。 ・ 仲間と協力し、安全面に注意して器具を使用しながら練習をする。
	7 ・ 8	○水泳 ◆障害の防止	・ 長く泳いでいられることを目指す。 ・ 自己の能力に適した課題をもって、クロール、平泳ぎの練習を行い、正しいフォームを身に付ける。 ・ 交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因と環境要因などが関わって発生することを学ぶ。 ・ 周囲の状況と傷病者の状態を確認し、適切な手当や通報する必要があることを学ぶ。
	9 ・ 10	○球技 (バレーボール)	・ 自分の技能を活用してゲームを行い、個人的技能を高めながら、見方同士が協力し作戦を立ててゲームをする。 ・ サーブやレシーブ、トス、スパイクなどの基本的な技能を高め、ゲームに生かす。 ・ バレーボールのルールや審判法を正しく理解し、公平・公正にゲームを行う。

2 学 期	11 ・ 12	○バドミントン ○ソフトボール ○柔道	・自己の能力に適した技を選択し、個々の技ができるようにするとともに、それらを組み合わせ、技がよりよくできるように技能を高める。 ・仲間と協力し、安全面に注意して器具を使用しながら練習をする。 ・礼儀作法や相手を尊重する態度を重視するとともに、基本動作と基本的な技を身に付け、自己の技能に応じた練習を行う。
	12 ・ 1	○球技 (バスケットボール) ◆健康な生活と病気の予防	・仲間と協力して練習やゲームを行い、ゲームを通して自己やチームの課題を明らかにする。 ・仲間と教え合いを通して基本的技能を高め、その技能をゲームで発揮する。 ・生活習慣病とはどのような病気かを知り、その予防について学ぶ。 ・喫煙、飲酒、薬物は心身に影響を与え、健康を損なうことを学び、誘われたときの適切な対処方法についても学ぶ。
	2 ・ 3	○球技 (ハンドボール) (サッカー) (卓球)	・仲間と協力して練習やゲームを行い、ゲームを通して自己やチームの課題を明らかにする。 ・仲間と教え合いを通して基本的技能を高め、その技能をゲームで発揮する。

【評価の方法】

評 価 の 対 象	主体的に学習に取り 組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
授業への意欲・学習態度・約束の遵守	○	○	
授業での観察	○	○	○
実技テスト			○
定期考査（期末考査）			○
学習カード	○	○	

【学習アドバイス】

○体育分野

- ・服装、時間、さまざまな約束事をしっかりと守り、安全に気をつけながら活動しましょう。
- ・基礎体力を向上させましょう（準備運動をしっかりと行うこと）。
- ・集団行動や、グループ学習を通して、互いに見合って指摘し合うことで、技能を向上させましょう。

○保健分野

- ・私たちは、環境問題や交通事故、自然災害などさまざまな危険と隣り合わせで生活していることを自覚し、自らの健康を守る安全で適切な行動ができる能力を身につけましょう。
- ・私たちの健康を保持増進するためには、生活習慣や社会の取り組みが密接に関わり合っていることを理解し、生涯において健康な生活を送るための様々な知識を学びましょう。

令和4年度年間指導・評価計画

教科	保健体育	学年	第3学年	担当	舟山 広介 外館 恵美
----	------	----	------	----	----------------

【教科の目標】

○体育分野

- (1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- (2) 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3) 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、最善を尽くして運動をする態度を育てる。

○保健分野

個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学 習 活 動
1 学 期	4 ・ 5	○集団行動 ○体づくり運動 ○スポーツテスト ○陸上競技 (リレー走)	・ 自己の体に関心をもち、自己の体力や生活に応じた課題をもって、体の調子を整えるなどの体ほぐし運動を行い、体力を高める。 ・ 記録の向上を目指して、仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。 ・ スピードのあるバトンパスができるようになる。
	6 ・ 7 ・ 8	○球技（バレーボール） ○水泳 ◆健康と環境	・ サーブやレシーブ、トス、スパイクなどの基本的な技能を高め、仲間と協力して三段攻撃に挑戦する。 ・ 長く泳いでいられることを目指す。 ・ 自己の能力に適した課題をもって、クロール、平泳ぎの練習を行い、正しいフォームを身に付ける。 ・ 空気や飲料水は健康と密接な関わりがあることを学ぶ。 ・ 人間の生活によって生じた廃棄物は環境保全に配慮し衛生的に処理する必要があることを学ぶ。 ・ ごみ処理の問題や公害について学び、身体との関わりを学ぶ。
	9 ・ 10	○球技（バレーボール）	・ バレーボールのルールや審判法を正しく理解し、公平・公正にゲームを行う。 ・ 作戦に応じて、仲間と連携したゲームを展開できるようにする。 ・ ゲームの運営を自主的に責任を持って取り組めるようにする。
	10 ・ 11	○球技（ソフトボール） (バドミントン)	・ チームや自分の能力に応じた課題を見つけ、練習やゲームを通して課題を解決し、集団的技能や個人的技能を高める。

12	○球技 (バスケットボール)	・ 基本的な技能を高め、仲間と協力して練習やゲームを楽しむ。 ・ 作戦に応じて、仲間と連携してゲームができるようにする。
1	◆健康な生活と病気の予防 「感染症とその予防」～「性 感性症とその予防/エイズ」	・ 感染症と主体要因・環境要因との関係を考え、適切な対処方法 や感染源、感染経路について学ぶ。 ・ S T Dやエイズなどが近年増加していることを知り、予防策や 正しい知識と適切な行動が大切であることを学ぶ。
2	○選択球技 (サッカー・バレーボー ル・卓球)	・ 仲間と協力して練習やゲームを行い、ゲームを通して自己やチ ームの課題を明らかにする。 ・ パス、シュート、ドリブル、トラップなど基本的な技能を高め、 その技能をゲームで発揮する。 ・ 作戦に応じて、仲間と連携してゲームを展開する。 ・ ねらった場所にサービスを行い、ボールの返球に対して、安定 した動きで用具を操作する。
3	◆健康な生活と病気の予防 「保健・医療機関と医薬品 の有効利用」～「共に健康 に生きる社会」	・ 医薬品の正しい使い方について学ぶ。 ・ 健康とは、個人だけではなく、国や地方の行政、さらに世界の 人々が支え合うことによって守られていることを学ぶ。

【評価の方法】

評 価 の 対 象	主体的に学習に取り 組む態度	思考・判断・表現	知識・技能
授業への意欲・学習態度・約束の遵守	○	○	
授業での観察	○	○	○
実技テスト			○
定期考査（期末考査）			○
学習カード	○	○	

【学習アドバイス】

○体育分野

- ・ 服装，時間，さまざまな約束事をしっかりと守り，安全に気をつけながら活動しましょう。
- ・ 基礎体力を向上させましょう（五橋体操やサーキットトレーニングをしっかりと行うこと）。
- ・ グループ学習を通して，互いに見合って指摘し合うことで，技能を向上させましょう。

○保健分野

- ・ 私たちの健康を保持増進するためには，生活習慣や社会の取り組みが密接に関わり合っているこ
とを理解し，生涯において健康な生活を送るための様々な知識を学びましょう。